

會 告

拜啓左記の通り農商務省より照會相成り候に就ては會員各位の御意見拜承仕度候間來る十二月十五日迄に何分の御申出相願度此段謹告仕候也

大正六年十一月廿五日

日 本 鐵 鋼 協 會

産三第三四號

大正六年十一月廿二日

農商務省商工局長 岡

實

日本鐵鋼協會理事長殿

工業用材料並機械類ノ形狀寸法等ノ不統一カ事業ノ發達進歩ヲ妨クルコト甚カラサルヲ以テ之ヲ統一スルノ必要アリト認ムルモ其ノ緩急輕重ノ程度及實行方法等ニ就テハ相當ノ調査攻究ヲ要スル義ニ有之候間左記事項ニ付可成來十二月末日迄ニ御意見詳細御回示相煩度別冊參考書相添此段及照會候也

記

一、工業用材料並機械類ノ形狀寸法等ヲ統一ストセハ如何ナルモノヨリ着手スヘキヤ其ノ緩急ノ程度並其ノ理由

1 二、現行度量衡ノ不統一ヲ整理スル爲ニハ主ナル工業用材料並機械類等ニ對シ同時ニ且劃一的ニメ

「トール」系統ノモノヲ採用スルヲ理想トスルモ若シ部分的(例ハ鐵道又ハ電氣事業ノ如キ)ニ統一ヲ行フヲ便利トスレハ如何ナルモノヨリ着手スヘキヤ竝其ノ理由

三、其ノ他本件ニ付參考トナルヘキ事項

工業用材料並機械類ノ形狀寸法等ノ統一ニ關スル參考書

本邦ニ於ケル機械製作其ノ他ノ金屬工業ハ逐年發達シ殊ニ最近數年ニ於テ著シク進歩シタルノ蹟アリ然ルニ製品ノ種類ハ多岐ニ亘リ其ノ要部ノ形狀寸法等ハ區々ニシテ其ノ間ニ統一の基準ナク雜駁ヲ極ム故ニ同種多量ノ生産ニ依リテ品質ヲ精良ニシ生産費ヲ低減シ或ハ交換可能性ヲ増シテ彼此流用ニ便ニシ或ハ最少限度ノ設備ニ依リテ最大ノ效果ヲ舉ケ若ハ材料及要品ノ貯藏數量ヲ減シ資金ノ冗費ヲ省ク等幾多ノ利益ヲ發揮スルコト能ハスシテ斯業ノ進歩ヲ妨クルコト渺カラス蓋從來工業用材料ハ主トシテ之ヲ歐米諸國ノ供給ニ仰キ製作ニ使用スル機械若ハ其ノ部分品等モ亦歐米ノ先進國ヨリ輸入スルモノ多カリシ爲メ内地製品ハ或物ハ英米ニ則リ或物ハ獨佛ニ依ルカ如ク其ノ標準トスル所ノモノ交互錯雜セルヲ以テ斯ノ如ク不統一ヲ來シタルナリ然ルニ今ヤ國防上ハ勿論經濟關係ニ於テモ需要品ノ大部分ハ歐米諸國ニ仰クノ時代ニ非スシテ一切ノ必要品ハ成ル可ク之ヲ自給自足シ更ニ海外販路ノ擴張ヲ圖リ工業力ヲ増進シテ産業ノ基礎ヲ確立スヘキノ時機ニ際セリ故ニ速ニ叙上ノ不統一ヲ整理シテ工業用品ノ生産使用並販賣ニ便ナラシムルコトヲ要ス然レ共之カ實行ニハ自ラ緩急アルヲ以テ各般ノ事情ヲ考慮シ其ノ效果ノ最顯著ナルヘキモノヨリ適切ノ基準ヲ定メ之カ實施ニ萬遺漏ナキコトヲ期セサルヘカラス

叙上ノ理由ニ依リ臨時産業調查局ニ於テ本件ニ關シ主ナル官私工場當事者ノ意見ヲ求メタルニ何レモ皆其ノ趣旨ニ賛シ速ニ適當ノ順序方法ニ依リテ統一ニ關スル施設ヲ爲サムコトヲ望メリ故

ニ本件ノ可否ニ就テハ殆議論ノ餘地ナキモノト信ス更ニ進ンテ如何ナル事項ノ調査ニ著手スヘキヤヲ稽查スルニ概ネ左ニ掲クルモノノ如シ而シテ此等ノ事項ニ關シテハ汎ク關係ノ官廳學會及特殊團體等ノ意見ヲ參照スルノ必要アリ

工業用品中統一ヲ要スル主ナル品目

一、鐵鋼材ノ形狀寸法並材質ノ統一

鋼材ハ其ノ形狀寸法並材質共各需要者ノ注文ニ依リ製作セラルルモノ多キヲ以テ其ノ品類多種ニ亘リ雷ニ其ノ價格ヲ不廉ナラシムルノミナラス其ノ生産率ノ減殺サルルコト亦夥シキカ故ニ速ニ其ノ標準規格ヲ制定シテ叙上ノ不便利ヲ除去スルコトヲ要ス本件ニ關シテ昨年製鐵業調査會ニ於テ立案シタルモノアリ先般鑛山局長ヨリ其ノ適否ニ付關係ノ諸學協會ニ諮問シ既ニ其ノ答申ヲ得タルヲ以テ之ニ依リテ適當ノ標準規格ヲ定メラレ近ク其ノ實施ヲ見ルニ至ルヘキモノト信ス然ルニ鐵鋼材ノ需要ハ將來益々増加スヘク其ノ結果此ノ外尙標準規格ノ制定ヲ要スルモノ出ルコトアルヘク標準統一事項中最重要ナルモノノ一ナリトス

二、螺絲ノ統一

本邦工業界ニ使用スル螺絲ハ主トシテ英國ウキットウオース系ナレ共近時米國系ニ改メタル工場アリ又彼石油鑿井機ニ米國系ノ螺絲ヲ用ヒ絹絲紡績機ニ佛國式ノ螺絲ヲ使用セルカ如ク機械本來ノ製造國ニ普通ニ採用セラルル螺絲ヲ踏襲的ニ採用セルモノ多ク從テ其ノ種類頗ル區々ニシテ工業上並軍事上ニ及ホス支障頗ル大ナリ故ニ特殊構造ニ要スルモノハ別トスルモ一般工業用ノ螺絲ハ速ニ之ヲ統一ニシテ工具ノ數ヲ減シ構成用部分品ノ流用ニ便ニスルコトヲ要ス

三、^{ボルト・ナット}螺釘頭母螺及「スパンナー」ノ形狀寸法及材質ノ統一

螺釘及母螺ハ諸建築構造物並機械ノ製造等其ノ使用範圍廣汎ニシテ其ノ需要數量頗ル多キニ拘ラス螺釘ノ頭部並母螺ノ形狀寸法等頗ル區々ナルヲ以テ其ノ締付ニハ一々特殊ノ「スパンナー」ヲ使用スルノ必要アリ工事ノ進捗上並經費上看過スヘカラサル損失ヲ醸シツツアルヲ以テ速ニ之ヲ統一シテ同徑ノ螺釘ニ對シテハ全國ヲ通シテ常ニ一樣ノ母螺並「スパンナー」ヲ使用セシメ彼此流用ニ便スルノ要アリ

四、銅管、鑄鐵管、銅管、鉛管等ノ捲込接手（ユニオン・ジョイント）ヲ含ム及鰐接手ノ形狀寸法並取付用螺釘ノ數及大サ等ノ統一

此等ノ諸管ハ瓦斯分配用、清水、污水、壓力水蒸汽又ハ壓縮空氣等ノ通路トシテ用ヒラレ其ノ需要頗ル夥多ナルヲ以テ其ノ取換修繕ヲ要スル場合亦多シ然ルニ其ノ接手ノ形狀寸法等ハ同一用途ノモノト雖製作者ノ異ナルニ從テ異ナレリ殊ニ甚シキハ同一船舶内ニ於テ同種ノ目的ニ使用スル管ナルニ拘ラス其ノ船體部ニ屬スル部分ト機關部ニ屬スル部分トニ依リテ其ノ接手ノ設計ヲ異ニスルモノアリ故ニ各管ノ種類使用ノ目的並其ノ管ノ受クヘキ壓力及大サ等ヲ基礎トシテ其ノ接手ノ種類形狀寸法ヲ統一スルトキハ其ノ製作並使用上ノ便益莫大ナリ

五、「ヴァルヴ」「コック」類並其ノ附屬品ノ形狀寸法ノ統一

此等ノ器具ハ蒸汽水瓦斯等ノ通路ノ開閉ニ使用セラレ其ノ需要數殊ニ多シ故ニ管ノ徑、使用壓力並通過スル流動體ノ種類ニ應シ其ノ形式並主要部ノ寸法ヲ統一スルトキハ現時錯雜ヲ極メ居ル種類ヲ著シク減少シ彼此流用シテ過不足ノ調節ヲ容易ナラシムルノ利殊ニ大ナリ

六、針金寸法呼稱ノ統一

^{ワイヤー・ゲージ}針金寸法ノ呼稱ニ數種アリ需給兩者間ニ於テ混雜ヲ來ス場合頗ル多シ故ニ速ニ之ヲ統一シテ

一系ノ呼稱ヲ用セ錯誤ヲ避ケシムルコト最必要ナリ「ワイヤーゲージ」ハ針金ノ大サノミナラス習慣上薄板ノ厚サ及鐵管ノ厚サヲ表示スルニ用ヒラルルヲ以テ統一ノ效果特ニ著大ナルヘシ七、以上ノ外電氣機械、電氣用品、原動機、工作機械、船舶用品等ノ要部傳導車軸^{ライオンシャフチンク}及其ノ接手ノ形狀寸法其ノ他統一ヲ要スルモノ尠カラス其ノ詳細ハ茲ニ之ヲ略ス

度量衡統一ニ關スル參考書

本邦ニ於ケル度量衡ハ多岐多樣ニ亘ル即尺貫系斤系鯨尺系「ヤード、ポンド」法及「メートル」法ノ五系統ヨリ成リ其ノ名稱六十餘ニ及ヒ其ノ使用範圍錯雜ヲ極ム例ヘハ官公署又ハ事業者ニ依リテ度量衡ヲ異ニスルハ勿論同一官廳同一事業者ト雖各擔任者ニ依リテ之ヲ異ニスル等不統一甚シ故ニ工業製品供給者ハ需要者ノ需ニ應スルカ爲殊更ニ各種ノ機械多樣ノ工具ヲ備ヘ或ハ殊更ニ幾多ノ設計方案ヲ作成スルノ必要アリ之ニ加フルニ公示ニ係カル統計ノ標準タル度量衡亦亂雜ニシテ相互關聯ヲ缺クカ爲事毎ニ換算ヲ繰リ返ササル可カラサル等多分ノ勞力ト無益ノ費用ヲ要シ且錯誤紛爭ヲ惹起シ易キ狀態ナルヲ以テ速ニ此ノ弊害ヲ矯正スルノ方法ヲ講セサル可カラス而シテ各種ノ度量衡系統ハ各特有ノ沿革ヲ有シ其ノ根底深ク且外國トモ密接ノ關係ヲ有スルヲ以テ之ヲ統一スルハ容易ノコトニ非サルモ現行ノ如ク各種ノ度量衡ノ使用ヲ任意放任スルニ於テハ益々錯綜ヲ甚シカラシメ之ヲ改ムルニ愈々困難ヲ醸スニ至ルヘキノミナラス近來諸外國ニ於テモ國際的ニ之ヲ統一セムトスル趨勢ナルヲ以テ我國ニ於テモ速ニ將來統一セムトスル度量衡ヲ確定シ歸著點ヲ明カナラシムルコト最緊要ナリトス而シテ之カ實行ニ關スル方針ヲ考慮スルハ大體左ニ掲クカ如シ然シ共度量衡ノ統一事業タルヤ其ノ關係スル處廣ク且深甚ナルヲ以テ之カ實行ニ就テハ各方面ノ意見ヲ求メ慎重考慮ノ結果ニ俟タサルヘカラス

度量衡統一ニ關スル主ナル事項

一、本邦ノ度量衡ハ「メートル法」ニ統一スルコトヲ要ス但名稱ノ選定ハ慎重調査ノ上決定スルモノトス

「メートル」度量衡カ學理上及實用上最良ノモノナルハ世界ノ定論ナルノミナラス現今「メートル」條約ニ依リテ國際的度量衡トシテ世界ノ主ナル二十六箇國ノ承認セルモノナリ而シテ世界中「メートル」法ヲ專用スルモノ三十一箇國外ニ其ノ國固有ノ度量衡ト「メートル」法トヲ併用スルモノ十一箇國ニ及ヘルヲ以テ本邦ノ度量衡ヲ之ニ統一スルコトハ「メートル」法國際的統一ヲ得ル上ニモ緊要ナリトス

二、「メートル」法ノ採用ハ實行ノ容易ナルモノヨリ之ヲ行フコト

度量衡ハ社會各方面ニ於テ使用セラレ相互相關聯シ其ノ一ヲ改ムルモ直ニ他ニ影響スルヲ免レサルヲ以テ全國一齊ニ實行スルヲ理想トスルモ事自ラ緩急難易アルヲ以テ最實行容易ニ且必要ナルモノヨリ始メ順次他ニ及ホスヲ機宜ニ適シタル處置トスヘシ然レ共現今已ニ各方面ニ於テハ四圍ノ事情ニ制セラレ多大ノ不便ト不利トヲ知リツツ複雑ナル度量衡ヲ使用シツツアルヲ考フレハ一時ノ不便アリト雖永遠ノ利益ノ多大ナルヲ思ヒ直ニ之カ實行ニ着手スルノ優レルニ如カス

三、普通一般ノ度量衡ヲ急速ニ改ムルハ最困難ナルヲ以テ慎重ニ攻究シタル後適當ノ施設ヲ爲スコトヲ要ス

普通一般ニ行ハルル度量衡ハ殆全ク我國固有ノ尺貫系統ノモノニ屬シ其ノ因襲久シクシテ之ヲ改ムルコト容易ナラサルノミナラス急速ニ之ヲ實行セサル可カラサル重大ナル理由ナシ然

レ共之ヲ自然ノ成行ニ放任スルニ於テハ統一ノ前途遼遠ナルノミナラス度量衡ノ統一ヲ實行
シツツアル方面ニモ影響ヲ及ホシ易キヲ以テ之ニ對シテモ亦成ル可ク速ニ適當ノ施設ヲ爲ス
ノ必要アルヘシ

以上